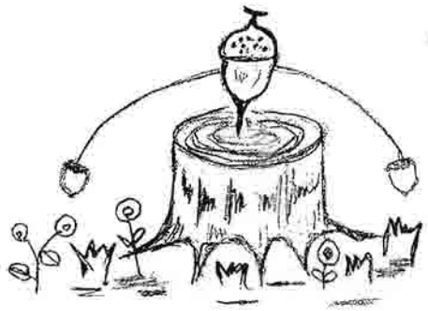
10月の園便り



園庭の
どんぐりが
今年は数十粒
とれました。
白ばらの
子どもたちが
たくさんとって
届けてくれました。

21年　新潟青陵幼稚園　加藤由美子

久しぶりに松林の遊歩道を通ったら、もう秋の気配・・・・赤い水引草が咲いていて、遊歩道にはニセアカシアの黄色くなった葉が落ちていて、道はオレンジ系で彩られていました。頭の上には、ニセアカシアの葉や松の葉が空中に浮かんでいます。魔法をかけられているかのように------蜘蛛の巣はいろんなものを引き寄せてしまうものですね。木々の間には、とっても大きな蜘蛛の巣があちらこちらにあります。手の込んだ素晴らしい蜘蛛の巣がお日様の光をうけて輝いていて、巣の中心には黄色と黒の縞模様の蜘蛛がおおきく手足を広げて待っています。冬が来るまえにと急いでいるかのよう------森の探検隊の時期に咲いていた金銀草の木には蔦がからみついて、まるでドレスを着ているみたい・・ドレスを着た木は真夜中にワルツでも踊っているのかもしれません。10 月は松林の木々も草花も騒々しくなるように感じます。今までの殻を脱ぎ捨てて、内面の変化をとげるためにザワザワと動き出すみたいに------変化の時がきたよ、さあ準備しよう、という声が聞こえてくるみたい----------子どもたちも、内面の充実する季節です。自然の変化が直接子どもたちに働きかけて、内面の成長（目に見えない成長）をする子どもたちです。外側からの働きかけは控えて、ひとまず“自然”という師に任せておきましょう。私たち大人には計ることができない成長を遂げていく子どもたちであることを、ただひたすら信じてあげましょう。やがて花開くときには私たちが予想だにしなかった大きな美しい花が咲くのですから。

幼児期は感覚によって世界をつかんでいく時期です。子どもたちは自然に触れ、五感を十分に使って豊かな成長をしていくのですが、その特徴を無視した、早期教育が広まっている現代に、どのように真の幼児教育を伝えていけばいいのかと思い迷うこのごろです。早期教育は百害あって一利なしといわれているにもかかわらず、このことが伝わらないのです。　教育産業の宣伝力には勝てないのですね。大阪千代田短期大学の学長広木克行先生は「早期教育の弊害は親の期待に過敏に反応する親和動機（親が喜ぶからやる）を強め、ストレスを貯め込むことを覚えてしまうことですが、安心感と自信を失い、持続する学習意欲の元となる好奇心と自発性そして達成動機の形成を犠牲にする点にもあります。」と言われています。子どもが自ら意味のある体験ができる幼児教育は、人間として必要になる確かな力を育んでいるのです。こうした“真の幼児教育”が多くの方々に伝わることを切に願いつつ--------。

１０月の予定

日	曜	給食	降園時間	行　　事
1	木	○	2:00	平成22年度入園募集が始まります。
2	金	○	2:00	サツマイモ堀に出かけます。
3	土	×	11:30	自由登園日です。
4	日	/	/	
5	月	○	2:00	
6	火	○	2:00	
7	水	×	2:00	どんぐり拾いに出かけます。お弁当を持たせてください。
8	木	○	2:00	
9	金	○	2:00	
10	土	/	/	第2土曜日
11	日	/	/	
12	月	/	/	体育の日
13	火	○	2:00	
14	水	○	2:00	
15	木	○	2:00	
16	金	○	2:00	
17	土	×	11:30	自由登園日です。
18	日			のばら祭です。詳細は後日ご案内を差し上げます。
19	月	/	/	振替休日です。　星の子は行います。ご利用ください。
20	火	○	2:00	
21	水	×	11:30	誕生会、10月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
22	木	○	2:00	
23	金	○	2:00	
24	土	/	/	第4土曜日
25	日	/	/	
26	月	○	2:00	青陵大学幼児教育学科2年生の教育実習が始まります。よろしくお願いいたします。
27	火	○	2:00	
28	水	○	2:00	
29	木	○	2:00	
30	金	○	2:00	
31	土	×	11:30	自由登園日です。